環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事　髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL　0561-51-2878

平成二十六年九月二十七日（土）快晴。三河湾環境再生プロジェクトの一環でマコモダケ採集する。講師は東三河マコモ研究会事務局長の村田氏に依頼して新城市迄で体験と学習に訪ねた。すばらしく大きな土地にマコモダケが根づいており非常にはじめて見た生徒達は感動していた。

マコモタケの魅力と町興し

マコモダケを知る人は殆んどいないので説明するにも本物がないと説明はつかず今回はその機会が来たので大変感謝しております。二年に一回の給食センターでの新米収穫まつりと食育料理教室は子供達にマコモダケ入り炊き込みご飯をつくりますのでたのしみにしております。食物繊維に富んでおり、制癌、血圧降下や糖尿病・骨粗しょう症などにも有効な機能性が期待されるもの珍しくニュースバリューが大きいので有望であると思う。

▲生のマコモダケ

マコモは美味で美しく、青々とした速い成長が見られるので極めて好印象で長いネーミングが可能である。マコモとアスパラガスの中間のような食感で美味しく、しかも癖が無くあっさりしている。マコモダケは中華料理の高級食材で、味は淡白でほのかな甘みがします。いろいろな料理に合う抜群の相棒

▲村田氏の説明を聞く「まながみ学園」の生徒達

天正3年（1575）長篠の戦いの舞台となった場所。武田軍と織田・徳川連合軍の総勢5万人を超える兵士たちが、東西の勢力の争いとなっていた長篠城をめぐり様々な戦術を駆使して戦ったところの場所で説明を聞くことは幸わせである。

◀設楽原の決戦場　馬防柵とマコモダケ

▶新城市　村田氏の田圃（マコモダケ栽培場）